

産科婦人科学

教授 泉 陸 一
助教授 柳 沼 恣

1. 研究概要

1) 泉：性器癌の基礎的・臨床的研究，ことに最近増加傾向にあり，多くの問題を抱えた卵巣腫瘍を主たる研究課題としている。現在生化学的，免疫学的方法などを用いた早期診断法の多角的な探求と合理的な制癌化学療法の確立をめざしている。

2) 柳沼：産婦人科領域の内分泌学的研究を主題として，ストレス無月経の成立・進展機構の解明や性分化・成長の面からみた胎児・新生児における性ホルモンの意義などを中心に進めている。

2. 学会発表

1) 培養絨毛上皮細胞表面の組織適合性抗原について：菅生，泉他，第28回日産婦学会総会，51. 5，松本。

2) 絨毛性腫瘍とABO血液型とHL-Aに関する検討：萩野，泉他，第28回日産婦学会総会，51. 5，松本。

3) 卵巣中腎性腫瘍の臨床病理学的検討：白水，泉他，第14回日本癌治療学会，51. 6，仙台。

4) 絨腫脳転移治療後の長期寛解例：菅生，泉他，第14回日本癌治療学会，51. 6，仙台。

5) 子宮体癌の手術々式：川名，泉他，第53回日産婦関東連合，51. 10，千葉。

6) 妊娠中の血液凝固一線溶系の動態：柳沼，第52回日産婦関東連合，東京。

7) 微量のエストロゲンとプロゲステロン投与の卵巣ホルモン分泌に対する影響：柳沼，第21回日本不妊学会総会，神戸。

8) 卵巣癌の臨床：泉，第29回日産婦学会総会(教育講演)，52. 5，秋田。

9) 卵巣低悪性度腫瘍の臨床病理学的考察：白水，泉他，第15回日本癌治療学会，52. 10，福岡。

10) DANAZOLの臨床応用に関する若干の知見：柳沼，第14回日産婦関東連合，東京。

11) DANAZOLの視床下部・下垂体・卵巣系機能に及ぼす影響：柳沼，第55回日産婦関東連合，宇都宮。

12) DANAZOLの視床下部・下垂体・卵巣系機能に対する作用および臨床応用：柳沼，第22回日本不妊学会総会，鹿児島。

13) DANAZOLの臨床応用：柳沼，日本不妊学会関東・東北連合地方部会，新潟。

14) DANAZOLの臨床応用：柳沼，第5回北陸連合地方部会，新潟。

15) Mechanism and therapy of stress amenorrhea : Yaginuma, T., International Seminar on Stress in Health and Disease, India, 1977.

3. 刊行論文・著書等

1) 泉：産婦人科手術と麻酔法の選択。産科婦人科データブック，産婦人科の世界，1976。

2) 柳沼：月経困難症に対する Lyndiol の二重盲検法による臨床治療成績。薬物療法 **9** : 811, 1976。

3) 柳沼：月経困難症に対する Lyndiol の二重盲検法による臨床治療成績。基礎と臨床 **10** : 179, 1976。

4) 泉他：進行癌はどこまで治せるか，手術療法の立場から。臨床婦人科産科 **31** : 33, 1977。

5) 泉他：卵巣癌の免疫化学療法。産科と婦人科 **44** : 997, 1977。

6) 泉：子宮体癌一定義，頻度，疫学，病因。図説臨床婦人科講座，第8巻，子宮頸癌・体癌，メジカルビュー社，1977。

7) 泉他：卵巣癌の化学療法とその実際。産婦人科治療 **35** : 513, 1977。

8) 柳沼：血清および脳脊髄液中HCG濃度の相関日産婦誌 **29** : 1163, 1977。

9) Yaginuma, T.: Effect of stress, metyrapone and adrenalectomy on compensatory ovarian hypertrophy. Endocrinol. Jap. **24** : 403, 1977。

10) 柳沼：機能性子宮出血に対するSC-1180・EEの二重盲検法による治験成績。新薬と臨床 **26** : 289, 1977。

11) 柳沼：月経困難症に対するSC-1180EEの二重盲検法による臨床治験。新薬と臨床 **26** : 521, 1977。